

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュおろ			
○保護者評価実施期間	令和7年5月26日 ~ 令和7年6月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年5月26日 ~ 令和7年6月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス計画を基に、日々の子どもの様子から長所や短所・個性などを理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している点。	個別支援計画書に記載されている支援目標や方針などを会議で共有したり、朝礼や終礼などで子どもたちのその日の様子を共有したりしている。	公休日や突発の休みなどで会議や朝礼・終礼などに参加することが出来なかった職員に対しても情報を共有出来る様に、ノートなど書面での記録を活用していく。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援を行っている点。	LINEや送迎時に親からの相談があった時などに話し合いの場が作れるよう調整している。また、送迎時などに事業所と家庭での子どもの様子を共有するなどしている。	引き続き保護者支援として面談や助言等を行っていく。こまめに子どもの様子を共有する事で保護者からの信頼関係を築き続けられるようにしていく。
3	子ども達の様子や支援方針・業務改善について、日々共有を図っている点。	会議や朝礼・終礼などで業務や支援の課題点の洗い出しを行い、改善点を出し合うようにしている。	その場にいない職員にも共有できるように、書面での記録等を活用し共通理解を引き続き図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がない点。	コロナ以前は取り組んでいたが、コロナが流行してからは途絶えてしまっている。	交流の機会を検討し、可能であれば連絡・調整を行っていく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が少なくなっている。また、きょうだい向けのイベントの開催等、きょうだい同士の交流の機会が少ない点。	開催に向けた職員配置の難しさ(人数等)。	充分な職員配置が出来る様、シフト調整や求人など働きかけをしていく。
3	日によって発達支援室のスペースが狭く感じる事がある点。	子どもの成長と、余暇時間での集団遊びによって一か所に人数が過密になってしまう点。	活動をグループ毎に分ける、遊びの空間も小集団で分けられるよう環境設定をしていく。